

(2) 講 評

○委員長 それでは、先生方の議論と内容について確認をさせていただきました。これから講評を始めたいと思います。

まず、結論から申し上げますと、非常に重要な基礎的データを構築する研究でありますので、ぜひ進めていただきたいということです。

その中で、幾つかコメントがございました。1つは、私も話をさせていただきましたが、あるいは委員のほうからも話がありましたけれども、森林部分や米軍写真の活用に関してはなかなか難しいところがあるというのはよく分かりました。研究の主体は都市部のところにあると思うのですが、それらのところ、難しいところにもちょっと目配せをしながら、ぜひ研究を進めていただきたいというのが1点。

次の1点は、海外事例についてはまだよく御存じではないということでしたので、それについてはやはり、元々技術的には海外からの輸入ということだったということでしたが、海外事例についても少しリサーチしていただいて、もし取り入れるべきものがありましたら取り入れて、逆に日本から発信できるものがありましたら世界への貢献ということもございまして、発信していただきたいと考えております。

また、委員からも御質問がありましたけれども、社会的インパクトが強い研究であります。質問への答えの中にありましたように、この研究自体は基礎的データを出すための研究ということは委員の先生方はみんな認識していて、それを推進していただきたいと考えております。先ほどの回答にもありました本省の部局等でこのデータの活用を考えてほしいというメッセージを出すというのは大いにやっていただきたい。ただ、この研究の背景や社会の期待を認識した上での研究の推進ということを明示した研究となっておりますので、盛土などで変化があった場所が単純に災害リスクがあるというような、あるいは災害リスクに直結するというようなデータの出し方ではないことも少し注意しながら、また、研究を進める段階、あるいはこの研究の重要性という中で、この研究によって災害リスクが分かりますよというだけのメッセージにはならないように注意していただきたいというふうなことでございました。

研究としては、様々なところに応用ができるものでございます。述べられていますように、いろんな分野での活用が期待されることですので、ぜひいい成果が出ることを期待しております。

以上、講評となります。